

校門坂

～ 輝く薩摩中央 ～

令和元年 9月 28日 (土) 南日本新聞

本校生徒が農業工学科で培った技術で、自作バイクを製作し、南日本新聞に掲載されましたので紹介します。



自作したバイクと上野陸さん
＝さつま町の薩摩中央高校

相棒は自作バイク

薩摩中央高
3年・上野さん

2カ月半で完成

移動編集局
さつま町
ウイーク

さつま町白男川の薩摩中央高校3年、上野陸さんの相棒は、世界に一台のミニバイクだ。一から部品を集め、

農業工学科で学んだ腕で今春、完成させた。「モンキー」用のフレームから組み立て、排気量50cc。初めは中古の購入を考えていたが、好みのバイクが見つからない。パーツ

のカタログを眺めるうちに「せっかくなら皆が乗っていないものを」と自作を思いついた。畜舎清掃のアルバイトなどでためた14万円

部と機械工作部を掛け持ちし、先輩や友人の手を借りながら、2カ月半かけて組み上げた。

「車高を低めにし、スポーツ感を出した」外観が自慢だ。知人のバイク店に点検してもらい、職員に驚かれないながらも町役場でナンバー交付を受けた。

「通学バイクはスクーター型に限られるの」で、またがるのは専ら休日だ。「友だちと走りながら、音を聞くのが楽しい。安全に、長く乗り続けたい」と日々の手入れに余念がない。(本坊弓子)